

閉鎖式パル輸液セット  
(フィルター付)

薬剤部調製用(医師は投与量入力不要)

患者ID @PATIENTID

患者氏名 @PATIENTNAME

診療科 @USERSECTION 医師名 @USERNAME

レジメン開始予定日(必ず入力)

年 月 日

## ベクティビックス・m-FOLFOX 6(進行・再発大腸癌)

14日/1コース

5-FU 急速静注 15分

I-LV

パニツムマブ L-OHP 5-FU CVCポートより46h持続静注

60分 120分

## 【参考】

ベクティビックス 6mg/kg/day 投与間隔は2週間以上

レボホリナート 200mg/m<sup>2</sup>エルプラット 85mg/m<sup>2</sup>5-FU 急速静注: 400mg/m<sup>2</sup>持続静注: 2400~3000mg/m<sup>2</sup> →初期設定: 2400\*メインルート、側管ともに点滴ポンプを使用すること。  
\*ベクティビックスはインラインフィルタを使用すること。

day01

## 療法プロトコル

Rp.1	生理食塩水 アロキシ デキサート	100ml 1A 3A	30分	点滴	
Rp.2	生理食塩水 ベクティビックス	100ml ( )mg	1時間	点滴	
Rp.3	5%ブドウ糖 レボホリナート	250ml ( )mg	2時間	点滴	Rp.3とRp.4 同時に開始
Rp.4	5%ブドウ糖 エルプラット	250ml ( )mg	2時間	点滴	
Rp.5	5%ブドウ糖 5-FU	100ml ( )mg	15分で	急速静注	
Rp.6	生理食塩液	50ml	15分	点滴	
Rp.7	生理食塩液50ml 5-FU	50ml★ ( )mg	インフューザーポンプより 46時間持続		

14病日に休薬完了

★「(フリーコメント)生食で全量100mlにする」→薬剤部で生食を必要量採り、全量100mlに調整する  
全量を変更する場合は、★の生食の投与量を変更し、フリーコメントを行削除する

\*レジメン開始後、投与スケジュール変更(休薬・減量等)コメント欄